

# J I A 愛知 建築見学ツアー 2017

## 伝統工法で家を建てる-飛驒の大工と話す

CPD 6単位予定

高山で築80年の民家と江戸期に建てられた蔵を改修、再生した経験から伝統工法で建てることの面白さと価値について、またその実際の内容を飛驒の大工から改修を行った現場「高山町屋惣四郎」にて直接聴く機会を設けました。同時に安藤忠雄が「世界で影響を受けた建築はロンシャンの教会と日下部邸だ。」と話している日下部邸、チャールズ・ムーアに「地球を半周して見に来た甲斐があった。」と言わしめた吉島邸を見学します。

(公社) 日本建築家協会 東海支部 愛知地域会

担当：研修委員会委員長 佐藤和正

日時 2017年10月28日 土曜日 7:20集合

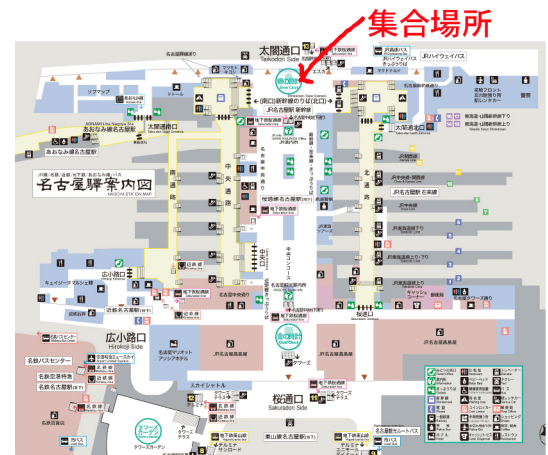
集合場所 名古屋駅西口《太閤通り口、新幹線側》銀時計前

旅程 7:30 名古屋駅西口発 10:00 惣四郎

12:00~13:30 高山にて各自昼食

13:30~15:00 日下部邸、吉島邸を飛驒の大工と見学

15:00~17:00 高山自由散策 19:30名古屋駅西口着



### 参加費用について

料金：随行人数が30人の場合は¥8,000-ですが、参加人数が増えると安価になります。

申込みされた方には締め切り後、速やかに参加人数と確定費用をお知らせします。

また、参加人数が30人に満たない場合は中止とさせていただきます。

費用には日下部邸、吉島邸の見学代金を含みます。

### 申込み方法

2017年9月20日までにJIA東海支部事務局に下記の項目を記入しFAXする。

その後随行人数が確定次第、事務局から正式金額をお知らせします。

10月9日までに下記の口座(、のどちらか)に旅行代金を振り込む。

代金振り込みをもって受け付け完了とする。

キャンセルの場合は代金は返却しませんので代理者の参加などを考えてください。(FAX:052-251-8495)

郵便局から 郵便振替口座 00850-6-205682

銀行から 金融コード:9900 店名:ゼロハチキュウ 店番:089 科目:当座 口座番号:0205682

問合せ先 公益社団法人日本建築家協会東海支部 事務局 名古屋市中区栄4-3-26 (昭和ビル5F)  
TEL:052-263-4636 FAX:052-251-8495

主催: 公益社団法人日本建築家協会東海支部愛知地域会

### JIA愛知 建築見学ツアー2017 参加申込書

参加者氏名	年齢	携帯番号	CPD登録番号	在籍団体	会社、学校名	メールアドレス
/	歳/	/	/	/	/	/
/	歳/	/	/	/	/	/
/	歳/	/	/	/	/	/
/	歳/	/	/	/	/	/
/	歳/	/	/	/	/	/

# 見学内容

## 高山町屋 惣四郎（そうしろう） 2016年高山市都市景観賞奨励賞

株式会社 東海・ビルドが高山市上一之町の古民家（昭和初期建築、蔵は江戸期）を手に入れ、飛騨の匠の手によるリノベーションを行った。施工を担当した大工いぐち・建築工房井口泉氏に依頼し、伝統工法による木造建築とはどのようなものかを惣四郎を用いて講義を行う。

技術のある「匠」を紹介する連載  
匠主 RUN 8 ～岐阜編～

いぐち・建築工房  
井口 泉さん



【木と向き合う飛騨の匠】

18歳で岐阜県高山市内の大工に弟子入りし、31歳でいぐち・建築工房として独立。そしてもうすぐ喜寿を迎える今でも現役で、大工に専念されている井口さん。飛騨高山伝統工法木造建築物研究会の副会長として、町づくりにも貢献されています。井口さんは、それぞれの木材が持つ特性を見極め、一番適した使い方を選定します。「生きている木と向き合うのが大工の仕事。そこには追求してもきれいな奥深さがある」と言われます。プレカットが主流になるなか、自然乾燥の材木を使用し、手刻みにもこだわり、木と向き合う追及心を持ち続け、次世代の大工を育てています。

いぐち・建築工房 岐阜県高山市岡本町1丁目 94-19 TEL: 0577-33-4127



## 日下部民藝館

日下部家は幕府（代官所）の御用商人として栄えた商家で、屋号を「谷屋」といいました。嘉永5年には、役所の御用金を用立てする掛屋〈かけや〉をつとめ、後には両替屋を営みました。当時の邸宅は明治8年の大火で類焼、その4年後の明治12年（1879）に完成したのが、現在の建物です。格子上の梁と束により浮かぶような架構が大きな屋根を支えています。



## 吉島家住宅

明治40年に建築されたもので、国の重要文化財に指定されています。日下部家が男性的な建物に対し、この吉島家は建物のすみずみまで神経のゆきとどいた、繊細さと女性的な美しさのある建物といわれています。



日下部民藝館、吉島家とも井口棟梁が同行して解説をしていただけます。